JPPF中長期計画補足資料（数値目標）

（2026～2030）

1．選手登録数推移と目標

年	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
女子	22	25	28	21	20	23	25	25	26
男子	48	55	62	69	68	70	72	73	74
合計	70	80	90	90	88	93	97	98	100

2．年齢別競技会参加数、2025年

	15歳以下	15～17	18～20	21～30	31～40	41～50	51～60	合計
女子	0	0	3	5	6	4	3	21
男子	2	3	5	11	16	18	14	69
合計	2	3	8	16	22	22	17	90

3．選手の地域分布、2025年

	北海道	東北	関東	中部	関西	中国四国	九州	合計
女子	2	0	8	3	5	2	1	21
男子	6	2	23	11	14	8	5	69
合計	8	2	31	14	19	10	6	90

4．強化戦略プラン

	2026	2028	2030
目標設定	ロスパスウェイに10名乗せる。 2027年の世界選手権、ワールドカップなどのパスウェイ大会に向けて競技力を向上	ロスに4名出場 8位入賞が4名、その内1名がメダル争いをする	2032ブリスベンに5人送る 1名がメダル獲得、1名がメダル争い
マイルストーン	2027年各世界選手権に10名選手を送る	上記達成のためには、現在10名がロスパスウェイに入っている。2027の世界選手権、2028年のワールドカップでさらに記録を伸ばし4名はランキング8位入りを目	ロス後の2029年の世界選手権に15名の選手を送りブリスベンパスウェイを確保する。

5．コーチ

	2022年度	2023年度	2024年	2025年	2026年	2027年	2028年	2029年	2030年
HPD	1	1	1	1	1	1	1	1	1
HPAD	0	0	1	1	1	1	1	1	1
ヘッドコーチ	0	0	1（兼務）	1（兼務）	1（兼務）	1	1	1	1
強化コーチ	4	4	4	4	6	6	6	6	6
育成コーチ	2	4	4	4	5	6	7	8	9
地域コーチ	4	6	6	6	8	8	9	10	11
地域サポーター	0	0	0	2	10	15	15	20	20
	全国各地にコーチを誕生させ、日常練習会の充実を図る。 大会時のコーチ帯同、補助員などは、コーチ陣で固める								

6．審判員

↓試験　↓国際レベル3、日本で2名取得　↓試験

	2022年度	2023年度	2024年	2025年	2026年	2027年	2028年	2029年	2030年
国際レベル１	1	1	1	1	2	2	2	3	3
国際レベル２	2	1	1	2	1	1	1	3	3
国際レベル３	4	5	6	3	5	5	5	8	8
国内	10	15	16	16	20	20	20	20	20
	審判員で大会の競技役員が回るようにする。 国際大会にできるだけ多くの審判員が派遣できる状態にし、 国際大会から最新の情報を常に取得できるようにする。								

7．競技大会

	2024	2028	2030　追記
目標	全国大会の充実 地域大会の開催充実 目的に応じた国際大会への派遣	国際大会の招致 目的に応じた大会の創設 目的に応じた国際大会への派遣	国際大会の招致 ジュニア、シニア大会創設 できるだけ多くの選手を世界に送る
施策	現在全日本レベル大会は2つ。 地方活性化を行い、地域大会増やす。 国際大会へは、目的別に派遣を1件創設し、ユースの選手も国際大会を経験できるようにする。	全日本選手権は1つにしぼる。 地方活性化を行い、目的に応じた全国レベルの大会を合計5つとする。 国際大会へは、目的別に派遣を2件創設し、初心者レベルの選手も、中級レベルの選手も国際大会を経験できるようにする。	目的別全日本を3つ作る （一般、ジュニア、シニア） 全国レベルの大会を6つ作り、どの大会でも日本記録が出せるレベル（選手も役員も）にもっていく。

8．普及、発掘、会員増

	2024	2028	2030追記
目標	競技会参加者総数　100人 発掘事業の回数　年4回 普及のためのイベント年4回	競技会参加総数　２００人 発掘事業の回数　年６回 普及のためのイベント年６回	競技会参加総数　300人 発掘事業の回数　年8回 普及のためのイベント年8回
施策	普及啓発活動を通じてパラパワーリフティング選手を発掘する。 競技会の性格を明確にし、初心者からトップ選手までが試合に出やすい環境をつくる。 スポーツ環境の改善と進捗状況の確認 学校、地域等の団体との連携 各種イベントの開催 広報事業の充実	普及啓発活動を通じてパラパワーリフティング選手を発掘する。 競技会の性格を明確にし、初心者からトップ選手までが試合に出やすい環境をつくる。 スポーツ環境の改善と進捗状況の確認 学校、地域等の団体との連携 各種イベントの開催 広報事業の充実	普及啓発活動を通じてJスターを利用して選手を発掘する。 競技会の性格を明確にし、初心者からトップ選手までが試合に出やすい環境をつくる。 スポーツ環境の改善と進捗状況の確認 学校、地域等の団体との連携 各種イベントの開催 広報事業の充実
	東京都障害者スポーツ協会や、JSCのJスター発掘事業など、積極的に参加し、レベル別 競技会の設置により、様々なレベルの選手が試合に出られるようにする。		

9．財務状況と予算計画

	実績		予算計画				
	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
売上高（イベント収入）	1,746,766	1,737,448	1,700,000	1,700,000	1,700,000	1,700,000	1,700,000
会費収入	2,314,000	3,847,997	1,722,000	1,800,000	2,000,000	2,200,000	2,400,000
賛助会費	750,000	700,000	500,000	700,000	900,000	1,100,000	1,300,000
受取助成金	39,971,086	44,668,776	45,855,794	45,000,000	45,000,000	45,000,000	45,000,000
受取寄付金	1,535,000	1,707,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000
協賛金	1,045,000	2,805,000	3,000,000	3,500,000	4,000,000	4,500,000	5,000,000
その他	0	0	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000
収入合計	47,361,852	55,466,221	54,777,794	54,700,000	55,600,000	56,500,000	57,400,000
給料手当	5,156,567	5,153,065	5,500,000	6,000,000	6,500,000	7,000,000	7,500,000
外注費	15,105,835	9,589,423	13,000,000	13,000,000	13,000,000	13,000,000	13,000,000
旅費交通費	15,824,164	22,566,933	22,000,000	22,000,000	22,000,000	22,000,000	22,000,000
消耗品	2,256,878	1,740,435	2,000,000	2,000,000	2,000,000	2,000,000	2,000,000
支払手数料	1,586,808	11,129,683	3,000,000	2,500,000	2,500,000	2,500,000	2,500,000
賃借料	1,744,633	1,714,360	1,700,000	1,800,000	1,800,000	1,800,000	1,800,000
支払報酬費	3,182,950	2,783,120	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000
その他	4,520,676	4,584,961	4,500,000	4,400,000	4,500,000	4,500,000	4,500,000
支出合計	49,378,511	59,261,980	54,700,000	54,700,000	55,300,000	55,800,000	56,300,000

10．セールス活動

項目	2025	2026	2027	2028	2029	2030
スポンサー収入	2,800,000	3,000,000	3,500,000	4,000,000	4,500,000	5,000,000
新規スポンサー獲得	2社	3社	4社	5社	6社	7社
人員計画 （事務局）	事務局1名 業務委託 （会計・行政書士）	事務局1名 業務委託 （会計・行政書士）	事務局1名 業務委託 （会計・行政書士）	事務局2名 業務委託 （会計・行政書士）	事務局2名 業務委託 （会計・行政書士）	事務局2名 業務委託 （会計・行政書士）